

子どもさんの耳鼻咽喉科診察にあたり 保護者の方へお願い

耳鼻咽喉科の小児の診察では、医師が使う診療器具を嫌がったり、怖がったりする為、診療に手間取るケースが時々見受けられます。

その結果、必要な診察・治療が行えないばかりか、診療中に事故が発生する可能性を心配しております。

医師・看護師は子どもさんを怖がらせない様に「声かけ」して不安を与えないよう心掛けて診察を行っているつもりですが、一旦、怖がってしまった子どもさんはその後、いくら「声かけ」をしても、スムーズに診察できなくなってしまうことがあります。

そのような場合、保護者の方からの「声かけ—やさしい一言」が一番、子どもさんを安心させることができます。

尚、どうしても診察の続行が難しいと判断された場合は、診察の順番を先に延ばして、診療時間の間は、子どもさんが診察を受け入れられる状態になるまで、お待ち致します。

以上、スムーズかつ、十分な診察・治療の為に、是非ご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。



横浜市救急医療センター
センター長